

第 48 回衆議院議員総選挙の結果を受けて

ご安全に。加盟組合・構成組織、県本部・県センターの皆さんの連日のご奮闘に心より敬意を表します。

昨日、10月22日（日）第48回衆議院議員総選挙が施行されました。

安倍一強体制に終止符を打ち、日本の政治を私たち働く者の手に再び取り戻すことによって、希望もてる豊かな明日を切り開くための闘いではありましたが、結果は非常に厳しいものとなりました。

9月28日に召集された第194回臨時国会冒頭の安倍総理による「大義なき、極めて自己都合的」解散が打たれ、民進党の候補者が希望の党、立憲民主党、無所属に分かれたなかで争点も明らかにならず、非常に解り辛い選挙戦となりました。

私たち基幹労連推薦候補者に関しては、114名中61名の当選を勝ち取るにとどまりました。

また、国政フォーラム議員においては9名中6名の当選を勝ち取ることができたものの3名を再び国政の場に送り戻すことができなかつたことは誠に残念でなりません。

このような結果となりましたが、意気消沈している時間はありません。私たち基幹労連は、働く者を軸とした政策の推進と確実な実現を決して諦めません。結果を真摯に受け止め、今後の組織強化に向けてさらに力強く舵をきるとともに、政策の推進と確実な実現に向けてリスタートをきる覚悟です。

今こそ、基幹労連の総力を結集し、一丸となってこの状況に立ち向かっていかなければなりません。

今次第48回衆議院議員総選挙に際して、加盟組合・構成組織、県本部・県センターのご奮闘に改めて心より敬意を表するとともに、次のステップアップに向けて26万2千組合員全員で立ち上がりましょう！

ご安全に

2017年10月23日
日本基幹産業労働組合連合会
事務局長 弥久末 顕